

繋 谷地南部っ子

令和6年度 学校便り
R7. 1. 14
NO 23
校長 秋場 一憲

経営キーワード「一步踏み出す力（主体性）」「チーム力（協働・対話）」「考え抜く力（解決・創造）」



今年もよろしくお願いたします！！

～ 3学期始業式で伝えたこと・「巳年」にちなみ粘り強く努力する1年に～

19日間の年末年始休業が明け、子供たちの笑顔と元気な声が戻ってきました。3学期始業式の校長講話で、下記の4点について話をしました。

- 命と健康を守り、言葉を大切にしてほしい。
- しめ飾りに込められた先人の思いを知り、大切に受け継いでほしい。
- 巳年にちなみ粘り強く努力し続け、成長する1年にしてほしい。
- 新年度に向け、力を蓄え準備する3学期にしてほしい。

特に、しめ飾りなどに代表される年末年始の年中行事の意味などについては、ぜひ、各ご家庭や地域でも話題にさせていただきたく思います。

3学期の学校生活は、46日間です。子供たちの安心・安全を最優先に、充実した1年間のまとめとなるよう精一杯指導していきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



3学期始業式の校長講話

「歳神様」への目印

○主な材料

- ・わら: 豊作
- ・松(神が宿る木): 長寿
- ・うらじろ(シダの葉): 生命力
- ・ゆずり葉: 子孫代々受け継ぐ
- ・みかん(たいだい): 子孫代々受け継ぐ



真剣に聴き入る子供たち

2学期経営反省会議で話題になったこと

2学期末、子供たちと教職員の学校評価アンケート結果を分析し、成果と課題、3学期以降に取り組むことなどを教職員で協議しました。話題になった主な内容は、下記のとおりです。

【成果】

- ・何事にも粘り強く、分からないことがあっても投げ出さずに最後まで取り組む姿が見られるようになった。
- ・言葉への意識が高まり始め、場に応じた話し方をしたり単語でなく文章で表現したりすることができるようになってきている。
- ・食堂給食など縦割り班活動の機会が増えることで、上級生が下級生の面倒を見る態度が一層身についた。

【課題】

- ・下級生を中心に、自分のことだけに目が行き周りの仲間との関係性を上手に築くことができない子供がいる。
- ・言葉の感覚をより一層磨く経験を積ませていきたい。

【3学期、来年度も取り組むこと】

- ・授業の振り返りで、自分の言葉で言える、自力でできる姿を目指していく。
- ・思いやりの言葉を伝えたり感謝の気持ちを伝えたりする活動を行っていく。
- ・友達とのより良い関係を築くための「伝え方」を学ぶ経験を繰り返し積ませていく。
- ・家庭学習のモデルを系統立てて示し実践させていく。



若手教職員と共に成長する ～ 第7弾 ～

「若手教職員と共に成長する・若手教職員紹介」シリーズ第7弾の今号では、菅野文香 教諭を紹介します。本校4年目となる今年度は、1年担任のほかに文化的行事、図書館教育担当を担っていただいています。

一 菅野文香 教諭:子どもを見取る力と実直な仕事ぶりが魅力 一

菅野文香 教諭は、授業はもちろん日常生活の中で、1年生一人一人を丁寧に見取りがんだり成長を価値づけるだけでなく、つきたい力や育てたい心を明確にし一人一人に寄り添った指導を大切にしています。また、子供たちの思いや願い、アイデアを重視し学級経営に生かしています。特に感心したのは、子供たちの係活動です。子供たちが主体的に係活動を行う時間をしっかりと確保し、係毎に活動したり学級の中で発表したりする場面を定期的に設定しています。子供たちは笑顔で生き生きと活動を進め、学級がいつも活気に満ちています。



子供に丁寧に語りかける

【菅野 教諭にインタビュー】

Q 教員を志した理由は？

A コロナ禍で不安な中で大学の友達の声かけがあり、一緒に勉強する中でみんなと支え合いながらがんばれる教員がいいと思ったから

Q 谷地南部っ子の良さは？

A とても素直なところ（素直さは大人でも一番大切）、自分たちで考えて行動できる力があるところ

Q 3学期がんばりたいことは？

A 今一緒に過ごせる1年生とたくさん話したり遊んだりすること、仕事にメリハリをつけること

Q 教員として仕事を進める中で、働き甲斐や生き甲斐を感じる時は？

A 子供たちから「わかった気がする。」と声が聞こえた時、仕事を早く正確にできたとき（特に会計処理）

寄り添い支援・指導



南小祭などの大きな文化的行事の主担当として、責任を持って企画・立案・実践を行っていただいています。南小祭での各学年の生き生きとした発表と身を乗り出して鑑賞する子供たちの一体感には感動を覚え、練習と準備過程から陰で支えてきた菅野教諭の努力の賜物と感謝しています。

また、図書館教育担当として日常の読書活動推進のほか、読書強化月間中の様々なイベント並びに図書館前の惹き付ける各種展示・掲示により学校全体の読書に対する意識が高まり、読書好きな谷地南部っ子に育っています。

担当する職務に対する責任感の強さや誠実な実行ぶりから、菅野教諭の実直な人柄が伝わってきます。（校長）

第6回校内授業研究会で確認したこと・今後活かしていきたいこと

菅野教諭が、生活科の授業を提案しました。学校グラウンドや中央公園などで子供たちが拾い集めた秋の素材を使い、おもちゃを作り仲間と工夫して遊ぶという学習です。子供たちは夢中になっておもちゃを作り、笑顔で仲間と遊びを楽しみました。村山教育事務所指導主事より、

◆おもちゃづくりだけでなく遊ぶことが重要

◆子供たちが共鳴する場づくりの工夫と大切さ

◆振り返りの中で、子供たち一人一人にたくさん話をさせるなどのご指導をいただきました。

今後も児童一人ひとりの活動の様子を丁寧に見取りながら、ねらいを達成させるために、適時必要な指導・支援を行っていくことを心がけたいと思います。



遊び方を笑顔で交流